

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<p><b>【思考・判断・表現】</b> ○課題の趣旨に沿って、どのような言葉を加えて文を手直しすればよいかなど、書いて表現する力(全国学力状況調査1ーの問題)において、全国平均と比較し、1ポイントの課題がみられる。</p> <p><b>【知識・技能】</b> ○文脈に即して漢字を正しく書く力(全国学力状況調査2二②の問題)においては全国平均と比較し1.6ポイントの課題が見られる。</p>	<p><b>【思考・判断・表現】</b> ○授業の中でクリティカルシンキング(批判的思考)を醸成する場面を必ず設定する。そのためにも自身の考えをアウトプットしたものを互いに評価(批評)し合う活動を各単元で1回以上は設ける。</p> <p><b>【知識・技能】</b> ○文脈に即して考えて漢字を書く力をつけるために、範囲を指定し、口頭で出題して書かせるテストを導入する。考えて書かせることで語彙力の向上に努める。</p>	
社会	<p><b>【適切な難易度の設定】</b> ○授業アンケートの質問文で否定的な意見が10%前後みられることや、定期考査の解答状況からみると社会科を苦手と感じ、意欲がもてない生徒がいる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ○授業アンケートの4・5に関して、否定的な割合が10%以上みられ、自ら進んで学習を行うことに課題が見られる。</p>	<p><b>【適切な難易度の設定】</b> ○社会科に苦手意識をもつ生徒が達成感を得られるよう、単元テストとリンクした基礎基本のプリントを作成し、生徒が完答することができるようにする。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ○映像を見せて実感をもたせ、旅行プランを作成させる等、将来経験する活動を取り入れる。 ○単元のまとめ学習で「自分たちの問題」として考えられる探究的な課題を設定し、自分事として考えられるような工夫を行う。</p>	
数学	<p><b>【知識・技能】</b> ○定期考査、単元テストの結果から、基礎的・基本的な知識が定着していない生徒がいる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ○授業での取組や定期考査、単元テストの結果から、具体的な問題場면을数学的に解釈し、既習内容と結び付けて解決する力に課題が見られる。</p>	<p><b>【知識・技能】</b> ○各単元の学習を始める前や学習を進める中で、これまでに学んだことを振り返る問題を解く時間を設定する。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ○様々な考えを引き出せるような集団での学習活動を設定するとともに、集団で様々な考え方を共有できるようなグループワークの工夫を行う。</p>	
理科	<p><b>【知識・技能】</b> ○定期考査の結果から知識の定着状況に大きな差が見られる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ○実験は楽しそうに行っているが、実験結果から考察することが出来る生徒が少ない。</p>	<p><b>【知識・技能】</b> ○定期的に小テストを実施し、生徒一人一人の理解度の把握に努め、授業内容に反映させる。また、学習の記録をタブレットで管理する。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ○実験の際、班で協力して結果を考察する時間を週に1回確保する。考察はすべて書かせるのではなく、プリントの穴埋めを活用するなどして苦手な子が考察の書き方を理解できるように改善する。</p>	

音楽	<p>【思考・判断・表現】 授業アンケートの結果から音楽性を直感的に感じ取る力は備わっているが、音楽的要素や背景と結び付けたり、それを表現したりする力に課題がある。</p> <p>【表現領域の技能習得】 授業アンケートの結果から限られた時数の中で定着する段階まで技能を習得できる生徒が少ないことが分かった。</p>	<p>【思考・判断・表現】 思考力、表現力の向上を知識、技能と結びつける授業展開を構成する。</p> <p>【表現領域の技能習得】 タブレットを活用し、自宅でも復習できることを課題として設定する。また、授業内で生徒の活動時間を確保し、より充実させていく。</p>	
美術	<p>【知識・技能】 ○授業中の様子から半数以上の生徒が道具の基礎的・基本的な技能が身に付いていない。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○授業中の様子から結果から自分の作りたい作品のイメージを形にすることが苦手な生徒が多々見受けられる。</p>	<p>【知識・技能】 ○タブレットを用いて道具の使い方、技法を伝える。作品を拡大し、作者の細かなタッチを読み取れるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○動機付けに重点を置く。学年で優秀作品を参考作品として掲示しイメージの具現化の事例を紹介する。</p>	
保健体育	<p>【思考・判断・表現】 ○生徒一人ひとりが課題意識をもって取り組むことができているが、課題解決に向けた具体的な行動をとることができる生徒は少ない。課題に取り組む行動力の育成が課題である。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○授業の様子から陸上競技、器械運動、水泳、ダンスでは全体的に主体的に取り組む生徒が多いが、球技に苦手意識があり、主体的に活動できない生徒が30%程度いる。</p>	<p>【思考・判断・表現】 ○ペア学習やグループ学習を活用し、課題や解決策を話し合う時間やそれを実践したりする場や時間を確保する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○段階的な指導を行い、少しずつ自信をもたせる。また、男女共習でのグループ編成を工夫し、仲間同士での高め合いを促す。失敗に対する声掛けの方法や解決方法を指導し、お互いに安心して取り組める場の工夫を行う。</p>	
技術家庭	<p>【知識・技能】 ○授業の様子から基礎的・基本的な技能を身に付けていないために、活動がスムーズに行えないことが分かった。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○課題に対し、積極的に取り組む生徒が多いが、自分の生活と関連づけて考え、記入することが難しい。</p>	<p>【知識・技能】 ○製作活動の前に、基礎的な技能の復習を取り入れ、さらに実技テストを行うことで、技能を定着させる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○課題に取り組む時間を十分確保すること、自分の生活と関連付けられるよう、思考のヒントを出す。</p>	
外国語	<p>【知識・技能】 ○基礎的な知識・技能を学ぼうとする意欲が見られるが、英作文に関してはスペリングミスや、語順のミスが目立つ。1年のスペリングテストでは、およそ25パーセントの生徒が30点以下の点数をとっている。</p>	<p>【知識・技能】 ○暗記ではなく、覚えた文などを使えるように指導する必要がある。また、正しい語順を考えて話したり、書いたりする指導を増やす。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○目的・場面・状況に応じて、表現する活動を</p>	

<p>る。Writing に関しては1年から丁寧に指導していく必要がある。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>○目的・場面・状況に応じて、工夫し、即興で応答することが苦手な生徒がいる。定期テストでは、この観点に関するテストの点数が知識技能の観点より低い傾向が見られた。</p>	<p>多く行う。また、間違いを恐れなくて、発言する雰囲気を作るため、ほめ言葉などを多く発話する。生徒からの自発的な発話量を増やす工夫をする。</p>	
---	--	--